

# どんな空気が、読めますか？

取材・文／はらみづほ 写真／蘿野孝行



以前の住まいで使っていたというホーローのシステムキッチンは、無垢材の床にもピッタリ。

## 建材も空調も、エコ。

「家づくりで肝心なのは、空気の循環だと知りました」とご夫妻が口を揃えるこのお宅は、床と天井の温度がほとんど変わらない快適ハウス。「例えば窓や階段の場所も室内の空気の流れに影響するので、流れ方を読んで暖房を配置するかどうかで、暖かさが全く違ってくるそうです。空気の流れを読んだ設計だと余分な設備もいらず、快適性も段違いだと知ってビックリしました」と夫の英人さん。地元産の湿気

に強いハルニレ無垢材の床や、呼吸する土壁の心地良さがすんなり伝わってくるのは、それらの建材が発する“いい気”もスムーズにめぐる、「空気を読む目」のおかげでもあったのですね。

## めぐる 「手づくりエネルギー」。

藍などを育て染色を学ぶ「自然染料作り講座」の主催者から西條さんを紹介された、という石田さんご夫妻。妻の智子さんは「何を使ってどう作られたかわから

らない商品を買ってくるより、自分で作る方が気が楽なんです」とおっしゃる手づくり派。日々の食事やおやつはもちろん、梅干しや味噌などの保存食からお子さんたちの肌着や服まで作ってしまう智子さんに、英人さんも影響を受けているとのこと。家庭菜園、地域交流活動、福島の子ども達を受け入れ保養してもらう支援活動など、温もりに満ちた様々な事柄を手づくりしていらっしゃいます。

「この家作りを通して職人の手仕事や技量を目の当たりにし、感動しました。いろんなプロが一生懸命つくってくれた家に

住んでいる。そのことが誇らしく、とても嬉しいです」と英人さん。

地産木材の息吹、職人たちの呼吸、建材と人材の資質を空間に結晶させる設計士の手腕…。活力あふれる様々な息遣いと手仕事エネルギーが溶け込むこの家の空気は、ここで呼吸を重ねる石田さんのみなさんにも、きっと影響していることでしょう。

「空気」という見えないエネルギーを感じて暮らすお二人に、新しい豊かさを教わった気がします。

この記事の続きは、HPでお楽しみください。  
<http://www.saijo-d.com>



## 換気は家の呼吸です。

成人が一日に摂取する空気量は25kg。食べ物や飲み物よりも多いのです。接着剤で張り合せた合板を使わず道産の無垢材でつくる我社の住宅は、工事中でもイヤなにおいがしないと言われますが、暮らしの中ではよどんだ空気が発生します。高気密仕様の住宅において暖かで安心な空気を循環させるには、換気と暖房の計画を考え合わせた“気流の設計”が大切です。



**BIO+**  
ビオプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 ビオプラス西條デザイン  
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581